

6月から国民健康保険の特定健診が始まります

☎ 保険医療課 ☎ 65-6512
 ☎ 健康推進課 ☎ 65-7759

特定健診は40歳から74歳までの人が対象の健診です。自覚症状がほとんどないまま進行する生活習慣病を早期発見できます。さらに、結果をもとに生活習慣を見直し、必要な治療を受けることで、腎不全や脳卒中、心臓病などの大きな病気を防ぐことができます。

国民健康保険に加入中の人は6月から、市の総合健診会場と指定医療機関で特定健診が受けられます。対象の人には5月下旬に受診券をお送りします。

平成28年度の長浜市国保の特定健診受診率は31.6%で県内最下位でした。受診率が上がることで、国からの交付金が増え、その結果、保険料の急激な上昇を抑えるなどの安定的な国民健康保険運営につながります。

ご自身の健康状態を把握するためにはもちろん、安定的な国民健康保険運営のためにもぜひ特定健診を受けましょう。

また、職場で健診を受けている人、通院治療中の人も、0次健診を受けるという人、特定健診では満足できないという人も、それぞれに合った方法で特定健診を受けたとみなすことができます。

下のフローチャートから、ぜひ自分に合う方法で特定健診を受診してください。
 日程等は5月下旬に受診券とともにお送りするパンフレットをご覧ください。



第2期データヘルス計画

第1期(平成28年度・29年度)データヘルス計画の評価および分析を活かして、第2期(平成30年度から35年度まで)データヘルス計画を策定しました。加入者が健康で過ごせる期間を伸ばすこと、持続可能な国保の財政運営をめざすことが目的です。計画の策定にあたり、長浜市の現状を分析した結果、医療費が高い病気として、がん、筋骨格(骨粗しょう症等)、心筋梗塞や脳梗塞等の循環器の病気、糖尿病、精神の病気がありました。それらの現状分析を基に、左記の5点を対応が必要な課題として設定しました。

- ① 特定健診の受診率を向上させる。
- ② がん検診の受診率を向上させる。
- ③ 喫煙者や運動不足の人を減少させる。
- ④ 脳梗塞、心臓病の重症化を防ぐ。
- ⑤ 医療費適正化を推進する。

病気になっても、保険を使って安心して治療を受けることができますが、病気を予防し、また悪化させない取組を行うことで安心して医療を受けられる保険制度を守っていきたく考えています。ご協力をよろしくお願ひします。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

